

『私次第』

全米オープンテニスで2度目の優勝をした大坂なおみ選手の一問一答を一部紹介します。

☆試合直後にコートに寝転んだのは？

「偉大な選手たちが地面に倒れて空を見上げるのをずっと見てきた。彼らが見たものを見たかった。本当に素晴らしい時間だった」

☆新しい「大坂なおみ」を見せられたか？

「『ニューなおみ』や『オールドなおみ』がいるとは思わないけれど、失敗から成長できた。中にはひどい振る舞いもあったけれど、すべての試合で多くのことを学んだ」

☆大会中に一番大切にしていたことは？

「(約半年ぶりに復帰した)直前の大会から、プレーできることに感謝していた。私は本当に戦いたかった。学べたことは、試合では何が起きてもチャンスがあるということ。それをチャンスと受け取るかどうかは私次第ということ」

学びの楽しさは、「できなかったことが、できるようになる」と教わり、私自身もできるようになる楽しさを実感してきた。年齢を重ね、

校長 南波 聡



「できていたことが、できないようになる」、「できるようになりたいと始めても、思うように進まない」を実感する機会が増えた。気が付くと「言い訳」と「愚痴」が増えていた。

大坂なおみ選手の「私次第」が心にヒット。真似たい人がいれば真似ればよい。見たいものがあれば見に行けばよい。今あることに感謝し、すべてがチャンスと受け止めればよい。

すべては「私次第」。『ニューナンバ』があると信じて。

<地域の皆様へ>

ライフワークとして、「海のプランクトン観察会」(出前授業)を8月から始めました。これまでに豊玉小学校と美津島北部小学校で理科室をお借りして6年生に実施させていただきました。海洋の生態系を支えるプランクトンについてほんの僅かでも興味を持っていただければと考えています。学童保育や幼稚園・保育所の児童にも実施可能です。興味がありましたらお気軽に豊玉高校までご連絡ください。(ホームページにも掲載しています)

14 海の豊かさを
守ろう



避難訓練

9月30日(水)、避難訓練が行われました。今年も、対馬市消防署・消防団の方にお越しいただき、消火訓練や救急救命法について実践形式でご指導いただきました。生徒は、「実際に現場に遭遇したら、動揺して正しい判断が難しいかもしれませんが、頑張って人の役に立ちたい。訓練のための訓練にならないようにしたい」と話していました。対馬市消防署・消防団の皆様、貴重な体験をさせていただき有難うございました。



舟ぐろう奉納 9月17日(木)

本校1学年の生徒が和多都美神社古式大祭において奉納行事”舟ぐろう”に参加しました。あいにくの雨ではありましたが、力強く櫓をこぎ、元気に声を出し、精いっぱい舟を進め、無事に海中の一の鳥居に辿り着きました。

実技指導や舟の出し入れ等、地元の方々の献身的な支援をいただきながら、郷土に対する理解を深めることができました。ありがとうございました。



〈生徒の感想より〉

「櫓をこぐ難しさ、手や体のきつさに加えて、心を一つに舟をこぐ楽しさが徐々にましていった。」
「本番前まで不安もあったけど、舟が真っ直ぐ進み無事にゴールしたときは大きな達成感を感じた。」
「雨の中、舟で沖に出たときは恐怖を感じましたが、仲間と力を合わせて頑張れたので、最後にはとても楽しかった。」「やっぱり勝ちたかった！」

人生の達人セミナー

9月16日(水)、講師の隈本耕一郎先生(合同会社 玉之浦商店 代表)による

“やってダメならもっとやろう！”

人生、楽しんだやつが最強！最幸！”

と題した講演を行っていただきました。目標を持ちチャレンジすることの大切さ、頼まれごとを快く引き受け実行することの大切さについて学ぶことができました。



〈お知らせ〉

11月1日(日)、『第44回豊高祭』を行います。

(午前:体育祭 午後:文化祭) 会場: パールドーム

豊玉高校ホームページ

検索 豊玉高校

<https://www2.news.ed.jp/section/toyotama-h/>